

## 平成24年度 新宿区普通会計決算について

### I 概 要

#### ○ 実質的な収支（実質単年度収支）は、4年連続の赤字

新宿区の平成24年度普通会計決算は、歳入総額が1,321億7千万円、歳出総額が1,287億5千5百万円で、形式収支は、34億1千5百万円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源が3億3千5百万円で、実質収支は30億8千万円の黒字となった。

また、単年度収支は8億7千7百万円の赤字で、これに財政調整基金の積立金を加え、同基金の取崩し及び繰上償還額を差し引いた、実質的な収支（実質単年度収支）は、20億2千3百万円の赤字となり、前年度に引き続き4年連続の赤字となった。

#### ○ 決算規模は、対前年度比、歳入1.6%・歳出1.2%の減

平成24年度の決算額は、前年度に比較して、歳入20億9千4百万円（△1.6%）の減、歳出15億1千6百万円（△1.2%）の減となった。

第1表 決算収支 (単位：百万円、%)

| 区 分               | 平成24年度  | 平成23年度  | 増減額     | 増減率    |
|-------------------|---------|---------|---------|--------|
| 歳 入 総 額 A         | 132,170 | 134,264 | △ 2,094 | △ 1.6  |
| 歳 出 総 額 B         | 128,755 | 130,271 | △ 1,516 | △ 1.2  |
| 形 式 収 支 C=A-B     | 3,415   | 3,993   | △ 578   | △ 14.5 |
| 翌年度に繰り越すべき財源 D    | 335     | 36      | 299     | 824.1  |
| 実 質 収 支 E=C-D     | 3,080   | 3,957   | △ 877   | △ 22.2 |
| 単 年 度 収 支 F(Eの増減) | △ 877   | △ 165   |         |        |
| 積 立 金 G           | 2,354   | 2,113   | 241     | 11.4   |
| 積立金取崩し額 H         | 3,500   | 3,500   | 0       | 0.0    |
| 繰 上 償 還 金 I       | 0       | 0       |         |        |
| 実質単年度収支 J=F+G+I-H | △ 2,023 | △ 1,552 |         |        |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

### II 主な特徴

#### 1 歳入

#### ○ 一般財源は、3千6百万円（0.0%）の減

財政調整交付金1億9千1百万円の増、地方消費税交付金で8千2百万円の増などがあるものの、子ども手当等の見直しに伴い地方特例交付金が3億7千2百万円の減となったことなどから、全体では3千6百万円（0.0%）の減となった。

#### ○ 特定財源は、20億5千8百万円（△3.5%）の減

繰入金の2億5千6百万円の増などがあるものの、国庫支出金が12億4千7百万円の減、都支出金9億7百万円の減などにより、全体では20億5千8百万円（△3.5%）の減となった。

第2表 歳入 (単位：百万円、%)

| 区 分       | 平成24年度  |       | 平成23年度  |       | 増減額     | 増減率    |
|-----------|---------|-------|---------|-------|---------|--------|
|           | 決 算 額   | 構 成 比 | 決 算 額   | 構 成 比 |         |        |
| 特 別 区 税   | 39,102  | 29.6  | 39,055  | 29.1  | 47      | 0.1    |
| 地 方 譲 与 税 | 502     | 0.4   | 537     | 0.4   | △ 35    | △ 6.6  |
| 地方消費税交付金  | 8,435   | 6.4   | 8,353   | 6.2   | 82      | 1.0    |
| 地方特例交付金   | 80      | 0.1   | 452     | 0.3   | △ 372   | △ 82.3 |
| 財政調整交付金   | 26,648  | 20.2  | 26,457  | 19.7  | 191     | 0.7    |
| その他の一般財源  | 1,144   | 0.7   | 1,093   | 0.9   | 51      | 4.7    |
| 一 般 財 源 計 | 75,911  | 57.4  | 75,947  | 56.6  | △ 36    | △ 0.0  |
| 分担金・負担金   | 1,502   | 1.1   | 1,465   | 1.1   | 37      | 2.5    |
| 使用料・手数料   | 4,107   | 3.1   | 4,040   | 3.0   | 67      | 1.7    |
| 国庫支出金     | 22,770  | 17.2  | 24,017  | 17.9  | △ 1,247 | △ 5.2  |
| 都支出金      | 7,675   | 5.8   | 8,582   | 6.4   | △ 907   | △ 10.6 |
| 財産収入      | 1,923   | 1.5   | 1,956   | 1.5   | △ 33    | △ 1.7  |
| 繰 入 金     | 9,198   | 7.0   | 8,942   | 6.7   | 256     | 2.9    |
| 諸 収 入     | 2,662   | 2.0   | 2,676   | 2.0   | △ 14    | △ 0.5  |
| 地 方 債     | 2,364   | 1.8   | 2,383   | 1.8   | △ 19    | △ 0.8  |
| 繰 越 金     | 3,993   | 3.0   | 4,190   | 3.1   | △ 197   | △ 4.7  |
| その他の特定財源  | 65      | 0.0   | 66      | 0.0   | △ 1     | △ 1.9  |
| 特 定 財 源 計 | 56,259  | 42.6  | 58,317  | 43.4  | △ 2,058 | △ 3.5  |
| 合 計       | 132,170 | 100   | 134,264 | 100   | △ 2,094 | △ 1.6  |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

## 2 歳出

### (1) 性質別

#### ○ 義務的経費は、17億1千7百万円（△2.4%）の減

義務的経費では、生活保護費や障害者自立支援給付費等が引き続き伸びたため、扶助費が3億8千6百万円（1.0%）の増となったものの、人件費が職員給及び退職手当の減等により15億7千1百万円（△5.5%）の減、また、公債費が、元金一括償還の減等により5億3千2百万円（△13.6%）の減となった。

この結果、義務的経費全体では、17億1千7百万円（△2.4%）の減となった。

#### ○ 投資的経費は、25億5千9百万円（△21.9%）の減

補助事業費では、区営住宅用地買収、14億5千万円の増などがあるものの、区民ふれあいの森整備、23億7百万円の減などにより7億3千万円（△22.6%）の減となった。

単独事業費では、落合文化資源の整備、1億7千5百万円の増などがあるものの、区民ふれあいの森整備、20億7千7百万円の減等により、17億1千2百万円（△20.5%）の減となった。

また、東日本大震災の発生により、被害を受けた新宿文化センターなどの施設復旧の終了にともない災害復旧事業費 1億1千7百万円が皆減となった。

その結果、投資的経費全体では 25億5千9百万円（△21.9%）の減となった。

#### ○ その他経費は、27億6千万円（5.8%）の増

その他経費は、維持補修費1億5千6百万円（△10.7%）の減などがあるものの、生活保護費等にかかる国・都支出金返納金や建築物等耐震化支援事業等の増により補助費等が11億5千6百万円（17.5%）の増、積立金9億9千3百万円（22.2%）の増、物件費2億2千万円（1.0%）の増となった。この結果、全体では 27億6千万円（5.8%）の増となった。

### (2) 目的別

#### ○ 民生費、総務費、消防費は増

民生費は、障害者入所支援施設等整備用地の購入や生活保護費などの扶助費の増により、28億6千8百万円（4.5%）の増、総務費は、職員費の減があるものの、基金積立金の増などにより6億3千8百万円（3.5%）の増、消防費は、建築物等耐震化支援事業等の増により、6千1百万円（4.0%）の増となった。

#### ○ 土木費、公債費、商工費、災害復旧費などは減

土木費は、区民ふれあいの森用地購入費の減などにより、34億3千1百万円（△28.4%）の減、公債費は、元金一括償還の減により、5億3千4百万円（△13.6%）の減、商工費は、貸付信用保証料補助等の実績減により、3億2千1百万円（△12.6%）の減、災害復旧費は、東日本大震災により被害を受けた施設復旧の終了に伴い1億1千7百万円が皆減となった。

## 第3表 性質別歳出

(単位：百万円、%)

| 区 分     | 平成24年度  |       | 平成23年度  |       | 増減額     | 増減率    |
|---------|---------|-------|---------|-------|---------|--------|
|         | 決 算 額   | 構 成 比 | 決 算 額   | 構 成 比 |         |        |
| 義務的経費   | 69,645  | 54.1  | 71,362  | 54.8  | △ 1,717 | △ 2.4  |
| 人 件 費   | 26,921  | 20.9  | 28,492  | 21.9  | △ 1,571 | △ 5.5  |
| 扶 助 費   | 39,351  | 30.6  | 38,965  | 29.9  | 386     | 1.0    |
| 公 債 費   | 3,373   | 2.6   | 3,905   | 3.0   | △ 532   | △ 13.6 |
| 投資的経費   | 9,145   | 7.1   | 11,704  | 9.0   | △ 2,559 | △ 21.9 |
| 補助事業費   | 2,497   | 1.9   | 3,227   | 2.5   | △ 730   | △ 22.6 |
| 単独事業費   | 6,648   | 5.2   | 8,360   | 6.4   | △ 1,712 | △ 20.5 |
| 災害復旧事業費 | 0       | 0.0   | 117     | 0.1   | △ 117   | 皆減     |
| その他経費   | 49,965  | 38.8  | 47,205  | 36.2  | 2,760   | 5.8    |
| 物 件 費   | 22,505  | 17.5  | 22,285  | 17.1  | 220     | 1.0    |
| 維持補修費   | 1,296   | 1.0   | 1,452   | 1.1   | △ 156   | △ 10.7 |
| 補助費等    | 7,743   | 6.0   | 6,587   | 5.1   | 1,156   | 17.5   |
| 積 立 金   | 5,454   | 4.2   | 4,461   | 3.4   | 993     | 22.2   |
| 貸 付 金   | 1,163   | 0.9   | 1,164   | 0.9   | △ 1     | △ 0.1  |
| 繰 出 金   | 11,804  | 9.2   | 11,256  | 8.6   | 548     | 4.9    |
| 合 計     | 128,755 | 100   | 130,271 | 100   | △ 1,516 | △ 1.2  |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため合計等が合わないことがあります

## 第4表 目的別歳出

(単位：百万円、%)

| 区 分       | 平成24年度  |       | 平成23年度  |       | 増減額     | 増減率    |
|-----------|---------|-------|---------|-------|---------|--------|
|           | 決 算 額   | 構 成 比 | 決 算 額   | 構 成 比 |         |        |
| 議 会 費     | 809     | 0.6   | 889     | 0.7   | △ 80    | △ 9.1  |
| 総 務 費     | 18,668  | 14.5  | 18,030  | 13.8  | 638     | 3.5    |
| 民 生 費     | 66,857  | 51.9  | 63,989  | 49.1  | 2,868   | 4.5    |
| 衛 生 費     | 13,457  | 10.5  | 13,604  | 10.4  | △ 147   | △ 1.1  |
| 労 働 費     | 1,074   | 0.8   | 1,133   | 0.9   | △ 59    | △ 5.2  |
| 商 工 費     | 2,222   | 1.7   | 2,543   | 2.0   | △ 321   | △ 12.6 |
| 土 木 費     | 8,632   | 6.7   | 12,063  | 9.3   | △ 3,431 | △ 28.4 |
| 消 防 費     | 1,599   | 1.2   | 1,538   | 1.2   | 61      | 4.0    |
| 教 育 費     | 12,063  | 9.4   | 12,457  | 9.6   | △ 394   | △ 3.2  |
| 災 害 復 旧 費 | 0       | 0.0   | 117     | 0.1   | △ 117   | 皆減     |
| 公 債 費     | 3,374   | 2.6   | 3,908   | 3.0   | △ 534   | △ 13.6 |
| 合 計       | 128,755 | 100   | 130,271 | 100   | △ 1,516 | △ 1.2  |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため合計等が合わないことがあります

### Ⅲ 財政指標

#### ○ 実質収支比率は、4.1% - 1.0ポイント減

財政規模に対する実質収支額の割合で示される実質収支比率は、分母である標準財政規模が、17億9千4百万円(△2.3%)の減となったものの、分子である実質収支額も、8億7千7百万円(△22.2%)の減となったため、前年度より1.0ポイント低い4.1%となった。

第5表 実質収支比率 (単位：百万円、%)

| 区 分                               | 平成24年度            | 平成23年度            | 増 減                  |
|-----------------------------------|-------------------|-------------------|----------------------|
| 実 質 収 支 額 A                       | 3,080             | 3,957             | △ 877                |
| 標 準 財 政 規 模 B<br>(うち臨時財政対策債発行可能額) | 75,730<br>(1,885) | 77,524<br>(3,752) | △ 1,794<br>(△ 1,867) |
| 実 質 収 支 比 率 E=A/B                 | 4.1<br>(4.2)      | 5.1<br>(5.4)      | △ 1.0<br>(△ 1.2)     |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります  
 ※ 実質収支比率の( )は分母に臨時財政対策債発行可能額を含めない場合の数値

#### ○ 経常収支比率は、88.9% - 0.8ポイント増

財政の弾力性を示す総合的指標である経常収支比率は、分母である歳入経常一般財源等が、地方特例交付金の減等により、2億5百万円(△0.3%)の減となったことに加え、分子である経常経費充当一般財源が繰出金等の増に伴い4億3千万円(0.6%)の増となったことにより、前年度より0.8ポイント増となる88.9%となった。これは、23区の平均85.8%より3.1ポイント高く、23区中、前年度の14番目から17番目の数値となった。

第6表 経常収支比率 (単位：百万円、%)

| 区 分                     | 平成24年度 | 平成23年度 | 増 減   |
|-------------------------|--------|--------|-------|
| 経 常 経 費 充 当 一 般 財 源 等 A | 67,344 | 66,914 | 430   |
| 歳入経常一般財源等(減税補填債等を含む) B  | 75,729 | 75,934 | △ 205 |
| 歳入経常一般財源等(減税補填債等を除く) C  | 75,729 | 75,934 | △ 205 |
| 経常収支比率(減税補填債等を含む) D=A/B | 88.9   | 88.1   | 0.8   |
| 経常収支比率(減税補填債等を除く) E=A/C | 88.9   | 88.1   | 0.8   |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

#### ○ 公債費比率は、4.5% - 0.5ポイント減

財政規模に対する公債費支出の割合で示される公債費比率は、分母である標準財政規模が、17億9千4百万円(△2.3%)の減となったものの、分子である公債費充当一般財源等も、5億3千2百万円(△13.6%)の減となったことから、前年度より0.5ポイント低い4.5%となった。

第7表 公債費比率 (単位：百万円、%)

| 区 分                   | 平成24年度 | 平成23年度 | 増 減     |
|-----------------------|--------|--------|---------|
| 公 債 費 充 当 一 般 財 源 等 A | 3,373  | 3,905  | △ 532   |
| 標 準 財 政 規 模 B         | 75,730 | 77,524 | △ 1,794 |
| 公 債 費 比 率 E=A/B       | 4.5    | 5.0    | △ 0.5   |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

### Ⅳ 地方債現在高

#### ○ 地方債現在高は、241億6千9百万円 - 5億4千9百万円減

地方債現在高は、平成23年度末の247億1千8百万円から5億4千9百万円減少し、241億6千9百万円となった。

第8表 地方債現在高 (単位：百万円)

| 平成23年度末現在高 A | 平成24年度発行額 B | 平成24年度元金償還額 C | 平成24年度末現在高 D=A+B-C |
|--------------|-------------|---------------|--------------------|
| 24,718       | 2,364       | 2,913         | 24,169             |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります

### Ⅴ 積立金(基金)現在高

#### ○ 積立金現在高は、369億4千4百万円 - 37億4千5百万円減

積立金現在高は、平成23年度末の406億8千9百万円から37億4千5百万円減少し、369億4千4百万円となった。

第9表 積立金(基金)現在高 (単位：百万円)

| 平成23年度末現在高 A | 平成24年度積立額 B | 平成24年度取崩額 C | 平成24年度末現在高 D=A+B-C |
|--------------|-------------|-------------|--------------------|
| 40,689       | 5,454       | 9,199       | 36,944             |

※ 区分毎に表示単位未満を四捨五入しているため差引等が合わないことがあります